

古里に残る史跡を子どもたちに伝えたい 佐藤忠さんが「しろいし史跡めぐり」を制作

8月23日、越河地区にお住まいの佐藤忠さんが、市内の史跡や伝承などを紹介する「しろいし史跡めぐり」を市内小中学校に寄贈しました。この本は、郷土史を研究する佐藤さんが、白石城や片倉家廟所など白石市全域の史跡96カ所を、1年半かけて資料収集・現地調査して出版したもの。佐藤さんは、「古里の史跡や伝承を後世に伝えることが私たち世代の務め。子どもたちの学習に役立ててほしい」と話しました。佐藤さんの著書は5冊目。これまで越河や斎川地区の歴史が主でしたが、今回初めて市内全域を対象に調査を進め出版しました。



▲子どもたちへの思いを込め武田教育長に本を手渡す佐藤さん
※希望する方には1部1,000円(送料別)で販売しています。詳しくは、佐藤さん(☎28-2037)までお問い合わせください。

機動力を武器に 3県45チームの頂点に！ 福岡少年野球クラブが第5回宮城県知事杯・第21回河北新報旗争奪少年野球白石交流大会で優勝

8月6日・7日の2日間、同大会が益岡公園野球場を主会場に行われ、福岡少年野球クラブ(日下博秋監督)が10年ぶり3度目の優勝を手に入れました。

宮城、山形、福島県の3県から45チームが出場した同大会。福岡少年野球クラブは初戦、2度訪れた無死満塁のピンチをしのぎ2対1で勝利。2回戦以降も苦しい試合が続く中、自慢の機動力を武器に全員野球で決勝に駒を進めました。



▲8月29日、風間市長に優勝を報告した福岡少年野球クラブの皆さん。今後も頑張ってください！

手づくりの温もりと技が光る作品 第7回手づくりの市



▲多くの方が訪れ、手づくりの良さを肌で感じていました

8月27日・28日の2日間、「第7回手づくりの市」が壽丸屋敷で開催されました。例年、5月に開催していたこのイベントは、震災の影響で8月に延期。「自分たちができることをやることで復興の一助になれば」と、7団体がビーズやキルトを使った手芸品などを展示・販売しました。会場には2日間で約720人が来場。温もりと技が光る作品を出店者との会話とともに楽しみました。

9月5日には、実行委員長の跡部清壽さんが市役所を訪れ、風間市長に当日の売上金の一部と、募金箱を設置して集めた寄付金を災害復興のために寄付しました。

笑顔で楽しく交流

第一児童館放課後児童クラブの児童が清風を訪問

8月18日、第一児童館放課後児童クラブを利用する児童25人とすぎのこ母親クラブ(佐々木とし子会長)の会員10人が、介護老人保健施設「清風」を訪問し、利用者と楽しく交流しました。世代間交流を目的として平成18年から続くこの訪問交流。今年は母親クラブによる大型紙芝居のほか、児童たちが「まるもダンス」を元気に披露。手を取り合って一緒に歌を歌うなど楽しいひとときを過ごしました。最後は、児童から利用者へ手作りの吊し飾りをプレゼント。「また来年も来ます。どうぞお元気で」と利用者に元気を与えていました。



▲少し照れながらも楽しく交流しました

あきらめなければ夢はかなう 深谷小学校で体力向上事業陸上教室

9月2日、体力向上事業陸上教室が深谷小学校で行われ全校児童60人が参加しました。講師は、陸上競技者として数々の国際大会に日本代表として出場し活躍された小島茂之さん。この日は、ウォーミングアップの仕方や基本的な動き方、陸上の楽しさについての講和などが行われました。小島さんは「あきらめないで頑張れば夢は必ずかないます。夢を持って頑張ってください」と児童にエールを送りました。参加した児童は「とても楽しかったです。勉強やスポーツを夢を持って続けていきたいです」と話していました。



▲真剣に練習を行う児童たち

世界で一番熱い夏 第2回白高祭



▲熱いパフォーマンスを見せた吹奏楽部の演奏

8月28日、白石高校の文化祭「第2回白高祭」が同校で開催されました。「希望の光～世界で一番熱い夏」をテーマとした今年の文化祭。合唱部や吹奏楽部の発表、書道部や写真部などの作品展示や体験コーナー、3年生による食品フロアなど多彩なイベントが学校中で行われ、生徒たちは若い力を存分に発揮していました。

震災以降、ボランティアとしても活躍した白高生。文化祭の売上金を義援金として寄付することも決めました。「白高生」という希望の光は、これからも白石、宮城、そして日本を明るく照らしてくれることでしょう。

みんなのところに種をまこう 北保育園で人権の花運動



▲花の種をまく園児たち

9月5日、人権擁護委員による「人権の花運動」が北保育園で開催され、4・5歳児20人が参加しました。この日は、白石市の人権擁護委員6人が園児たちと交流。園児たちは、人権擁護委員の皆さんと歌を歌ったり、贈呈されたパンジーやビオラなどの花の種をまいたりしました。小野琢磨委員は「花は、思いやりという名の水と、愛という名の栄養をたっぷりそそぐと、芽が出て花が咲き、大きな幸せの実がみられます。一緒に花の種をまいて、みんなの心にも種をまきましょう」と園児たちに話していました。